

調査報告書サマリー

マルチクライアントレポート

——— プロダクション商品徹底分析レポート ———

『オンデマンド/プロダクション機器と

その周辺機器、消耗品の市場動向調査・分析』

《2016年版》

= オンデマンド/プロダクション機器の市場も、電子写真商品に関しては各社ラインアップも一通り出揃い、今後においてはアプリケーションを絞りながらターゲットをピンポイントに絞り市場拡大を模索していく。そのためには地域に準じた消耗品/サポートの対応、後処理機をはじめとする周辺機器の対応が重要な要素となっていく。インクジェット商品に際しては、2013年/2014年は各社基幹系ニーズ以外の市場模索をスタートさせた年とあって良く、今後は電子写真と棲み分けながら各社ラインアップ拡充に力を入れていく段階まで来ている。同レポートにおいては、現状における各種ハードの市場をアプリケーション別に見ていくとともに、その周辺機器、消耗品特性、商流、サポート含めて総合的に市場を調査・分析していくものである =

株式会社 インターウォッチ

東京都千代田区神田須田町1-8

パールビル5階

TEL 03-3526-6461

FAX 03-3526-6462

E-mail:interwatch@iwco.co.jp

レポート発刊にあたって

オンデマンド/プロダクション機器の市場も、既存のメイン市場であった「企業内集中出力市場」や「基幹系出力市場」、軽印刷をはじめとする「ライトプロダクション市場」と言われる分野においては、電子写真/インクジェットを問わず各社商品も出揃い、販売も先進地域中心に大方一巡したといった見方が一般的である。

今後の市場拡大へ向けての重要な要素と言えるのが、オフセットやスクリーン、グラビアからフレキソ/凸版まで、既存アナログ印刷機からのシフトや共存が大きな課題となってくる。

とりわけ、ハードウェアによるスピードや画質、安定性といったスペック面も競争/共存していくには重要な要素となるが、既存印刷機で長年培ってきた、それぞれのアプリケーションに対する使い勝手やワークフロー、またコスト面/サポート面に至るまで、より綿密でユーザーニーズに即した商品提供が必要となってくる。

その大きな要素となるのが、各種後処理機をはじめとする周辺機器や消耗品特性である。

同レポートにおいては、例年のごとく各社における「オンデマンド/プロダクション」対象機器の主要モデル別・地域別市場を見ていくと共に、その「アプリケーション別出荷動向」や「設置台数」、「出力枚数」、「サポート体制」や「消耗品販売体制」、また同レポートからは「アプリケーション別周辺装置の設置状況」などをもターゲットにいれ、現状の市場を検証していくとともに、今後におけるオンデマンド/プロダクション機器の市場を調査・検証していくものである。

A. 調査対象機種

商品セグメント	主な対象機器/メーカー (以下の製品は対象機種の一部:2014年4月段階)
高速ラインヘッドインクジェット	Xerox/Impika「iPrint系」「CiPress系」、富士ゼロックス/富士フイルム「2800/1400系」「JetPress系」、キヤノン/オセ「ColorStream/JetStream系」、リコー/RPPS「InfoPrint系」、コニカミノルタ「KM-1」、Kodak「Prosper系」「VX系」「VL系」、大日本スクリーン製造「TrueprerssJet520系」「TruepressJetSX」、ミヤコシ「MJP20/30系」、LANDAテクノロジー採用メーカー、MEMJETテクノロジー採用メーカー、岩崎通信機、Domino、東京機械製作所、デュプロ、Founders、小森コーポレーション、KBA、Heidelberg、など
その他ラインヘッド採用インクジェット商品	理想科学工業、Xerox、セイコーエプソン、MemJet採用メーカー、など
電子写真オンデマンド印刷機 (カラー:連帳/カット紙)	富士ゼロックス「iGen150/4」「Color1000/800」「C75」「5656P」「8250系」「8080」「560/570」、キヤノン/Oce「C7011/6011系」「C9280pro/9270pro」「Colorstream10000系」、コニカミノルタ「C1070/1060系」「C8000/7000/6000系」「C70hc」、リコー/RPPS「C901/900系」「C751/651系」「C5110S/5100S系」、HP「indigo7600/5600/3550系」「IndigoW7250系」「Indigo30000/20000/10000」「IndigoWS6600/4600系」、Xeikon「8800/8600/8500/3500/3300/3030系」、Kodak「NexpressSX3900/3300/2700」、その他液体现像を含む電子写真メーカー
電子写真オンデマンド印刷機 高速デジタル PPC (モノクロ:連帳/カット紙:90ppm以上)	ゼロックス「Nuvera314/288/200/144/120/100系」「DocuTech180/155/128」「DocuTech6180/6135/6115」「650J」「495J」「D136/D125/110/95」「DocuPrint180/155/135/115/100」、キヤノン/Oce/SIS「1135/1125/1110系」「Variostream8000/7000系」「Varioprint6000系」「8205/8295/8285pro」「SX9000/8800系」、コニカミノルタ「1250/1052系」、リコー/RPPS「1357/1107/907系」「SP9500pro系」「LBF100A/75A」「Infoprint4100系」「Infoprint100」、Kodak「HD300/150/125系」、昭和情報機器「SX9000/8800/7800系」、シャープ「M1100/950」、東芝テック「e-Studio1355/1105/905」、その他ベンダー

B. 調査対象範囲

1. 調査対象品目
 - 1) 上記調査対象機種に該当する商品
 - 2) 上記対応消耗品(トナー/感光体/インク)
 - 3) 上記対応周辺機器
2. 調査対象地域
日本市場/北米市場/西欧市場/その他地域市場
3. 調査対象期間
2013年～2019年予測
4. 調査対象先
 - 1) 調査対象機器メーカー/ベンダー
 - 2) 上記関連消耗品業者
 - 3) 上記関連部材供給メーカー
 - 4) 上記関連周辺機器メーカー
 - 5) 海外における展示会出展メーカー/ベンダー
 - 6) その他関連企業

C. 調査概要

1. 調査形態、及び提供サービス、報告書
 - 1) 本調査はマルチクライアントによる調査である
 - 2) ご希望により報告書刊行後、報告会を実施
 - 3) 報告書を購入していただいたクライアントに対する、問い合わせによるアフターサービス
2. 調査期間
2015年12月～2016年2月
3. 調査報告書発刊日
2016年2月29日
4. 調査報告書価格
¥600,000 - (消費税別)
5. 調査担当
岩田治信

【目次】

【レポートにおける定義付け】	1
《対象ハードウェアのカテゴリについて》	
《対象ユーザー層について》	
・全体分析編	3
1 . プロダクション/オンデマンド関連商品市場推移	3
1) ハード/消耗品/保守・サポート関連売上推移	3
2) 2015 年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別売上割合	4
3) 2015 年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別・ベンダー別売上割合	5
2 . ハードウェア市場推移	9
1) 全体市場推移	9
2) 地域別全体市場推移	10
3) 印字方式別全体市場推移	11
4) 主要メーカー別全体出荷推移	12
(1) 出荷台数推移	12
(2) 出荷金額推移	13
5) 地域別・印字方式別出荷推移	14
(1) 全体出荷動向	14
(2) 日本市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	17
印字方式別出荷推移 出力タイプ別出荷推移	
(3) 北米市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	20
印字方式別出荷推移 出力タイプ別出荷推移	
(4) 欧州市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	23
印字方式別出荷推移 出力タイプ別出荷推移	
(5) その他地域市場におけるメーカー別・方式別・出力タイプ別出荷推移	26
印字方式別出荷推移 出力タイプ別出荷推移	
【高速プロダクション品を対象とした市場の地域別特性】	29
6) 地域別・ユーザー層別設置状況 (2015 年末段階)	30
(1) 地域別・方式別全体状況	30
(2) 地域別・方式別・メーカー別状況	34
日本市場	34
北米市場	39
欧州市場	44
その他地域市場	49
7) 既存印刷機市場における商流概要	54
(1) インクジェット印刷機のオフセットからのシフト概念と商流の動き概要	54
(2) 既存印刷における印刷方式別メリット・デメリット	56
(3) 印刷方式別主要用途	57

(4) 印刷方式別使用インキ概要	58
【方式別インキ種類】	59
【具体的用途と被印刷素材】	60
3. POD/オンデマンド市場における出力用途から見た市場規模・特色	61
1) 帳票出力用途	61
2) -1 基幹系プリンティング	62
2) -2 基幹系ソリューションとプリンタの機能連携	63
3) トランスプロモ	75
4) ダイレクトメール市場	77
5) 商業印刷用途	79
6) ラベル/パッケージ印刷用途	81
7) CRD/インプラントプリンティング	82
8) フォト出力	83
【メーリング機器動向】	84
4. POD/オンデマンド商品における消耗品市場	85
1) 消耗品販売のビジネスモデル概要	85
(1) クリックチャージ料金体制	85
(2) カスタマイズ料金	86
2) 消耗品市場推移	87
(1) 消耗品消費量/金額推移	87
3) ランニングコスト	91
【主要メーカーにおける印刷コスト情報】	92
5. POD 向け出力メディア検証	98
1) 全体検証概要	98
【1台当たりの出力ボリューム概算】	99
2) 平均出力枚数概算	100
(1) 全体出力量推移	100
(2) 主要ベンダー別出力枚数	101
全体出力量	101
カラー電子写真(カット紙)	102
カラー電子写真(ロール紙)	103
モノクロ電子写真(カット紙)	104
モノクロ電子写真(ロール紙)	105
インクジェット(ロール紙+カット紙)	106
3) 平均出力枚数概算	107
(1) インクジェット(ロール紙)	107
(2) カラー電子写真(カット紙:ハイエンド)	108
(3) カラー電子写真(カット紙:ミッドレンジ)	109
(4) カラー電子写真(カット紙:ライトプロダクション)	110

(5) カラー電子写真 (ロール紙)	111
(6) モノクロ電子写真 (カット紙 : ハイエンド)	112
(7) モノクロ電子写真 (カット紙 : 135 枚機クラス)	113
(8) モノクロ電子写真 (カット紙 : 115 枚機クラス)	114
(9) モノクロ電子写真 (カット紙 : 90 枚機クラス)	115
(10) モノクロ電子写真 (ロール紙)	116
5 . POD/オンデマンド商品におけるサポート/保守市場	117
1) サポート/保守におけるビジネスモデル概要	117
(1) メーカーのサポート部隊によるサポート	117
(2) アウトソーシング	117
2) サポート/保守における売上推移	118
(1) 全体売上推移	118
(2) 出力方式別・メーカー別出荷金額推移	119
インクジェット方式	119
カラー電子写真方式	120
モノクロ電子写真方式	120
6 . 理想科学工業 (「 オルフィス 」 における販売動向)	121
1) 「 オルフィス 」 の販売動向	121
2) 消耗品販売動向	122
3) ユーザー層別販売状況 (2015 年段階)	123
7 . 主要メーカーによる POD 販売人員数とその手法 (チャネル別販売状況概要)	124
1) 主要メーカーの地域別 POD 販売人員数	124
2) チャネル別販売状況概要	125
8 . インクジェット商品のアライアンス関係 (ラインヘッド採用商品)	126
9 . 主要プロダクション商品のモデル別出荷数量 (2015 年/2012 年 : 台数/金額)	127
1) 国内市場におけるカラー電子写真プロダクション製品	127
2) 国内市場におけるモノクロ電子写真プロダクション製品	128
3) 国内市場におけるインクジェットプロダクション製品	129
10 . 周辺機器市場	130
1) エントリー状況	130
(1) サードパーティオプション (インライン)	130
2) タイプ別 周辺機器市場詳細	131
(1) 連帳機 オプション (純正/サードパーティー)	131
(2) カットシート機 オプション (メーカー純正/サードパーティー)	134
3) タイプ別・メーカー別・地域別市場詳細	139
(1) 連長機出荷台数 (2015 年/台)	139
(2) カットシート機出荷台数 (2015 年/台)	142
4) エントリー周辺機器メーカー概要	160
(1) CEM S.r.I	160

(2) 株式会社デュプロ	160
(3) Rollem	162
(4) Horizon (製造元 太陽精機株式会社)	162
(5) C.P. Bourg	164
(6) Plockmatic	164
(7) Watkiss	165
(8) Multigaf A.G.	165
(9) GBC	165
(10) Tec Lighting	166
(11) Epic Cti	166
(12) Tecnu (Laser Max Roll System)	166
(13) Hunkeler	167
. 個別メーカー動向編	169

各社共通調査項目

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1) 高速プロダクション/オンデマンド機器関連商品における売上推移 2) ハードウェアにおける出荷推移 (1) 出荷台数推移 (2) 出荷金額推移 3) 消耗品における出荷推移 (1) 出荷量推移 (2) 出荷金額推移 4) サポート/メンテナンス体系とその売上推移 5) 2015年におけるハード/消耗品/サポート・メンテ地域別売上割合 6) 地域別・プリント方式別出荷推移 7) 地域別・主要モデル別出荷推移 8) 主要モデル別・ユーザー層/用途別導入台数(2015年末段階:設置台数) 9) 主要モデルにおける出力用途/出力物の傾向について 10) 主力商品と市場に対する取り組み概要 11) 2015年における市場全体の動向 12) 販売戦略概要 (1) 営業人員数 (2) 地域別・チャネル別販売数量 13) サポート体制とその仕組み概要 (1) サポート人員数 (2) サポート項目 14) ユーザー層別の考え方 15) 競合他社について 16) 今後の動向や新商品について |
|--|

1. Xerox/富士ゼロックス/富士フイルム	169
2. キヤノン	193
3. コニカミノルタ	217
4. リコー	238

5 . Hewlett-Packard (Indigo)	260
6 . Xeikon (Punch Graphics)	280
7 . Kodak	298
8 . その他ベンダー	317

お申込書

資料名	2016 年版 『オンデマンド/プロダクション機器と その周辺機器、消耗品の市場動向調査・分析』
貴社名	
所属	
お名前	
ご住所	
TEL/FAX	
E-Mail	

上記欄にご記入の上、FAX、または郵送、E-mail にてお送りください。
お電話でのお問い合わせでも結構です。

株式会社インターウォッチ

岩田治信

iwata@iwco.co.jp

TEL:03-3526-6461

FAX:03-3526-6462